



北九州市立大学

THE UNIVERSITY OF KITAKYUSHU

H26年度インターンシップ等実務者研修会

地域における実践型インターンシップ (PBL+SL)の取組み

～地域の再生と創造を担う人材の育成に向けて～

平成26年7月28日

北九州市立大学

地域創生学群

眞鍋和博

北九州における《地域×大学》インターンシップ、課題解決プロジェクト

北九州市の地域課題；人口減少、高齢化、過疎化、安心安全、製造業空洞化 etc…

PBL, SL

北九州まなびとESD ステーション

北九州ビュックライド掘り起し、キラガ
ッ北九州、小倉みつばち、まちなか
大学立ち上げ、グリーンバード、環境修
学旅行案内ガイド、YAHATA-
HAHAHA、ハッピーハロウィン、北九州en、
リバーウォーク、カボチャ支援&まるごと
韓国、まちなかITショップ、もりフォー
ム、手作り市場、ご当地グルメ活性、
Gerbera、藍島、被災地体験ツアー、健
康教室、まちなか広報、科学対話、
性教育出前授業

北九州市立大学 地域共生教育センター

エコスタイルカフェ、北九スピ
リット、ファッションネット
ワーク、オープンキャンパス
キャリアーナ、城南中学校学力
向上サポート、ハッピーバース
ディ、防犯・防災ボランティア、
百瀬ハートフルミュージック、
JOB×HUNTER2014

北九州市立大学 キャリアセンター

大学独自開拓インターンシップ
-63社、193名
九州インターンシップ推進協議会
-25社、38名
その他機関経由インターンシップ
-24社、26名
学生独自開拓インターンシップ
-25社、33名
海外インターンシップ
-3社、17名
TOTOインターンシップ -2名
企業研究in東京-20名
◆インターンシップ等産学連携教育 329名

北九州市立大学 地域創生学群

猪倉農業関連、合馬まちづくり、学校事務・教育支援、地域創生学群広報、小倉商店街、コラボキャンパスネット
ワーク、東日本大震災関連、まちなか・イベント連携、門司商店街活性化、地域共生教育センター運営、学外
地域組織連携活動、認知症職場体験、自閉症児療育キャンプ、北九州市立療育センター、シニア体カアッ
プ、スポーツ寺子屋、車いすソフトボール、FMラジオ番組制作、スクールボランティア

自己紹介 主な仕事・役割

- 経歴**
- S45 北九州市生まれ
 - H4 株式会社リクルート 入社
 - 人材採用、学校広報、適性検査、キャリア、営業・企画
 - H18 北九州市立大学 キャリアセンター助(准)教授
 - H21 地域創生学群(所属;基盤教育センター)
 - 現学群長、地域共生教育センター長、まなびとESD責任者
- 仕事**
- 地域実習コーディネート、学生指導
 - 基盤教育科目の授業
 - 認知度向上プロジェクトなど大学管理運営業務
 - We Love小倉協議会副会長、まちづくり関連委員(ボランティア)
 - 北九州市各種委員
 - 日本インターンシップ学会常任理事、大会実行委員長
 - 悩める学生の相談

地域創生学群



地域創生学群の概要

学部名称：地域創生学群

コース：地域マネジメント, 地域福祉, 地域ボランティア養成

修業年限：4年 ※最長6年の長期履修制度有

学 位：学士(地域創生学)

授業時間：月～土、1～7限(9:00～21:10)

設置時期：H21年4月

定員：90名(AO15/社会人特別40/一般35)

※地域での実践的な活動(実習)がカリキュラム上、
教職員・学生の時間的、心理的シェア大

実習、演習を相互に組み込んだ教育システム

1年次

指導的実習Ⅰ・Ⅱ

2年次

地域創生実習Ⅰ・Ⅱ
スポーツボランティア実習Ⅰ・Ⅱ
障害者スポーツ実習Ⅰ・Ⅱ
各コース実践論Ⅰ・Ⅱ

3年次

地域創生実習Ⅲ・Ⅳ
スポーツボランティア実習Ⅲ・Ⅳ
障害者スポーツ実習Ⅲ・Ⅳ
各コース実践論Ⅲ・Ⅳ

4年次

地域創生演習C・D
相談援助演習5

卒業論文・卒業実践報告

地域創生フォーラム

地域創生基礎演習
A・B

地域創生基礎演習C・D
相談援助演習1・2

地域創生演習A・B
相談援助演習3・4

○地域創生学群
専門基幹科目(約40)
専門科目(約40)

○基盤教育センター(40) テーマ科目
ビジョン科目
スキル科目
情報教育科目
外国語教育科目

学生ポートフォリオによる地域創生力獲得支援

学生の活動

教員との面談

- 地域創生力レベルチェック
- 地域創生力向上目標設定
- 活動計画策定

地域創生力向上活動

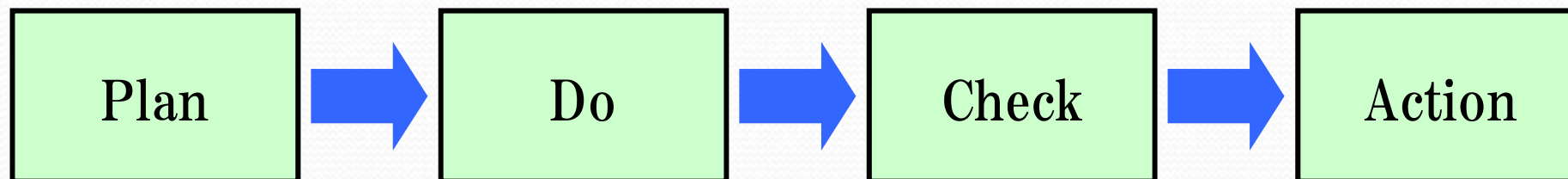
- 演習・実習
- ボランティア活動
- インターンシップ

評価・被評価

- 基礎力レベルチェック
- 自己評価
- 他学生評価
- 教員評価
- 実習先評価

教員との面談

- 年間振り返り
- 地域創生力向上確認
- 次年度プレビュー



地域創生力レベル別行動例

地域創生力レベルチェックシート

地域創生力表示シラバス

地域創生力向上活動一覧

目標設定シート

活動トピックシート

地域創生力レベルチェックシート

360度評価シート

自己評価/教員評価/学生相互評価/実習先評価

振り返りシート

KSP (kitakyu Sosei Portfolio)によるマネジメント

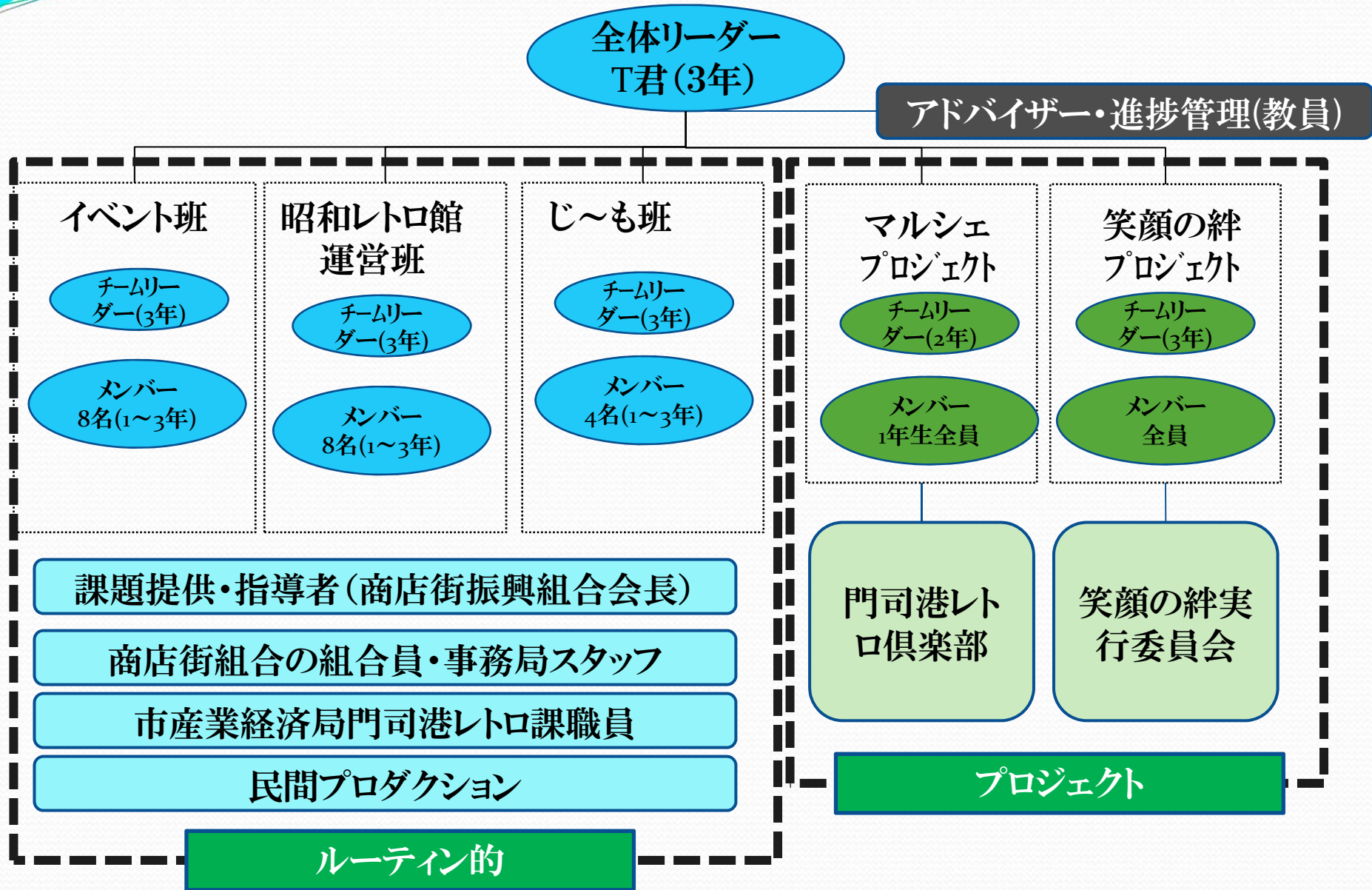


地域実習の特徴

- 数名から十数名のチームで活動する
- 1年次から3年次まで、「通年」で「日常的」に活動
- ボランティアと課題解決が同時並行 (PBL + SL)
- 地域に出るにあたってのマナー徹底
- 交流の機会と日常的な「場」の設定



プロジェクトの組織_門司活性化実習の例



プロジェクトの流れ_小倉実習の例

ルーティン

まちなかコンシェルジュ(月1から2回、全員)

グリーンバード(月4回、全員)

小倉PR映像作成(月1本、担当)

FMラジオ・コラボタウンネットワーク(月1回、担当)

プロジェクト

まちなか大学設立プロジェクト(担当)

We Love小倉情報プラットフォーム事業構築プロジェクト(担当)

小倉祇園ホコ天企
画出店プロジェクト

紫川夜市
企画出店プロジェクト

コスプレゴミ拾い企画運
営プロジェクト

大学祭出店

3年生引退企画

4月

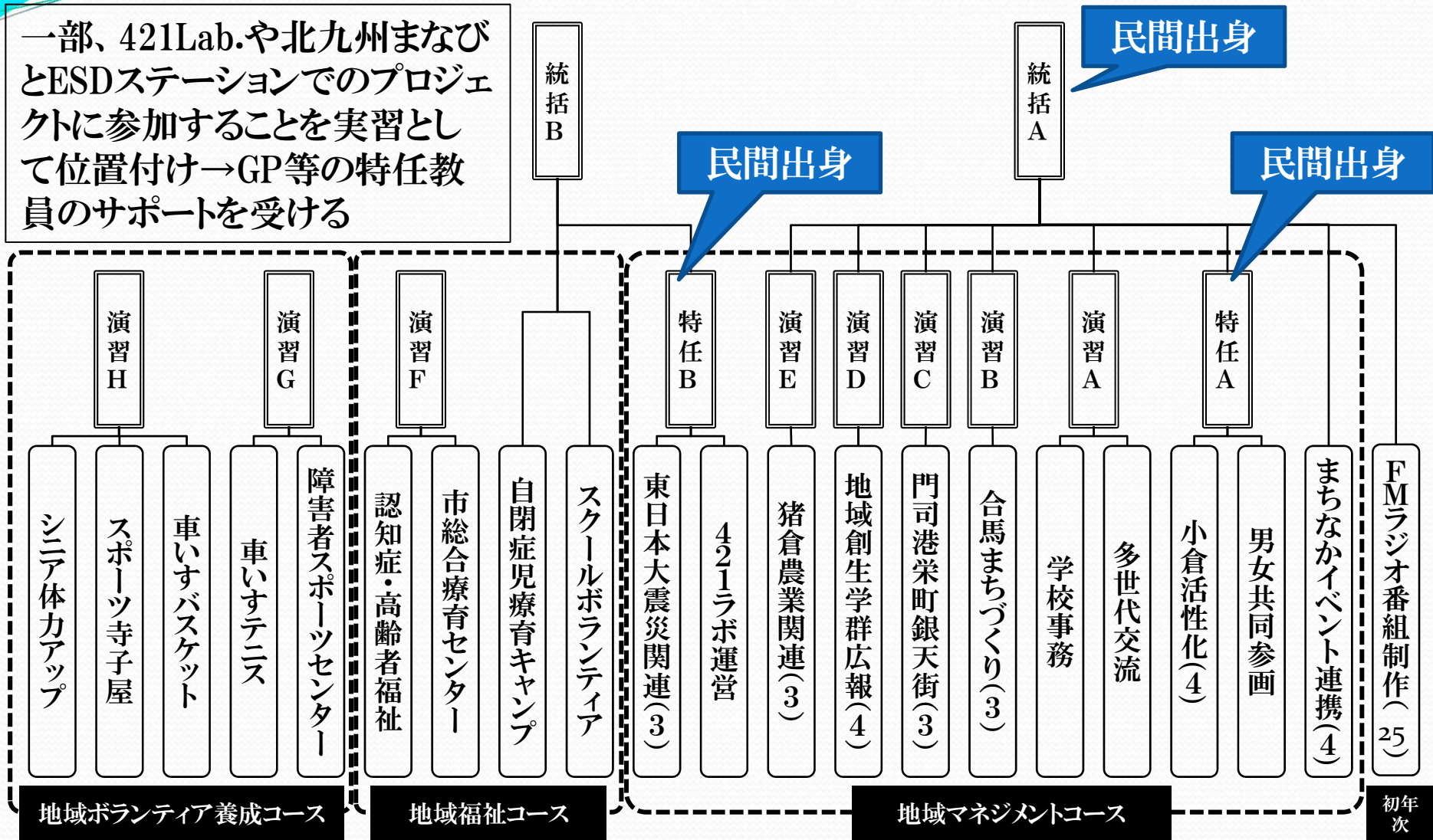
7月

10月

1月

指導体制

一部、421Lab.や北九州まなびとESDステーションでのプロジェクトに参加することを実習として位置付け→GP等の特任教員のサポートを受ける



地域創生チャレンジプログラム

- 現状に満足する学生が多くなってきた
- 「0」から「1」を生み出す体験
- 大黒柱を抜くことで、下級生の活性化を
- 3年次に「長期インターンシップ」もしくは「起業」
- 長期インターンは「正統的周辺参加」
 - 週4日、フルタイム、6か月、無報酬(交通＋昼食有)
- 起業はリソースを全部自分で集め、事業計画立案
 - お店、継続的イベント開催、企業・団体設立など

入試へのこだわり

【AO選抜】

- 1次選考/模擬授業の受講とレポート(200)
- 2次選考/面接・自己推薦書(200)

【一般選抜】

- センター試験/2教科2科目(200)
- 個別学力試験/小論文(100)
面接(志望理由書,調査書含・200)
活動・資格等実績申告書(100)

※特徴的な「面接」を実施



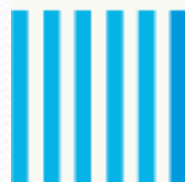
成果

- 地域創生力の伸長
- 第1期生、第2期生ともに就職決定率100%
- 継続する高志願倍率
- 卒業時の満足度の高さ
- 地域と大学の強力な連携構築

●●●● 学生の成長のトリガー

- 目標設定/活動の目的と目標の共有
- チームビルディング/リーダーとフォロワー、役割設定
- 成果物/発表、イベント実施、報告書等
- 教員の適度な距離/ペースメーカー,ファシリテーター
- 追い込む1/逃げられない状況からやり遂げる
- 追い込む2/学生のレベルよりも高いハードルを設定

地域共生教育センター



421 Lab.

北九州国立大学 地域共生教育センター
Regional Symbiosis Education Center

地域共生教育センター(通称421Lab.)

I プロジェクト型

CROSSFM番組制作((株)CROSS FM)
エコスタイルカフェ(市環境局)
スクールボランティア(市教委)
東日本震災関連プロジェクト 等

専任教員1名(社会福祉)
特任教員2名(民間・人事管理
(都市工学))
事務2名+(本部統括事務3名)

II マッチング型

ファッションネットワークプロジェクト
防犯・防災プロジェクト
ハッピーバースデープロジェクト
城南中学校学力向上サポートプロジェクト など

H21大学教育・学生支援推進事業(大学教育推進プログラム)「地域創生を実現する人材育成システム」採択



H22 421Lab.設置(GP予算)



H24 GP後も継続(大学予算)
環境ESD副専攻開講、事務担当

III インフォメーション型 多数

421Lab.の学生参加状況(H26.5.1)

学部	学年				総計
	1	2	3	4	
外国語	74	77	61	82	294
経済	50	57	65	92	264
文	50	52	82	83	267
法	39	37	56	42	174
地域創生学群	21	25	47	30	123
工	0	1	0	4	5
総計	234	249	311	333	1127

H26年5月1日現在

北九州まなびとESDステーション



あつまる、ひろがる、動き出す

北九州まなびとESDステーション

文部科学省 H24年度大学間連携共同教育推進事業

【施設概要】

- 北九州市内10大学の連携拠点
- 所在地;北九州市小倉北区魚町3丁目3-20 中屋ビル地下1階
- 開館時間;11:00~19:45
- 休館日;毎週水曜日、祝日・年末年始
- 施設内容;スタジオ10室、セミナー2室、キッチンスタジオ

【主要事業と機能】

- まなびとプロジェクト(27チーム)
- まなびとキャンパス
- まなびとマイスター
- その他、学生、市民の交流拠点



●●●● 本事業を実施するに至った(個人的)経緯

- リクルート勤務時代の「進路指導への疑問」
- 「アルバイトの戦力化」への試行錯誤
- 本学キャリアセンターでの「プロジェクト活動」
- 地域創生学群での「地域実習」
- 地域共生教育センターでの「プロジェクト活動」
 - + 北九州市からのESDに対する要請
 - + 寄せられる協働案件の多さに捌ききれなくなった
 - + 3つのチャレンジ



3つの挑戦

1 大学教育への挑戦

- PBL(Project Based Learning) + SL(Service-Learning)
- 大学が連携した教育

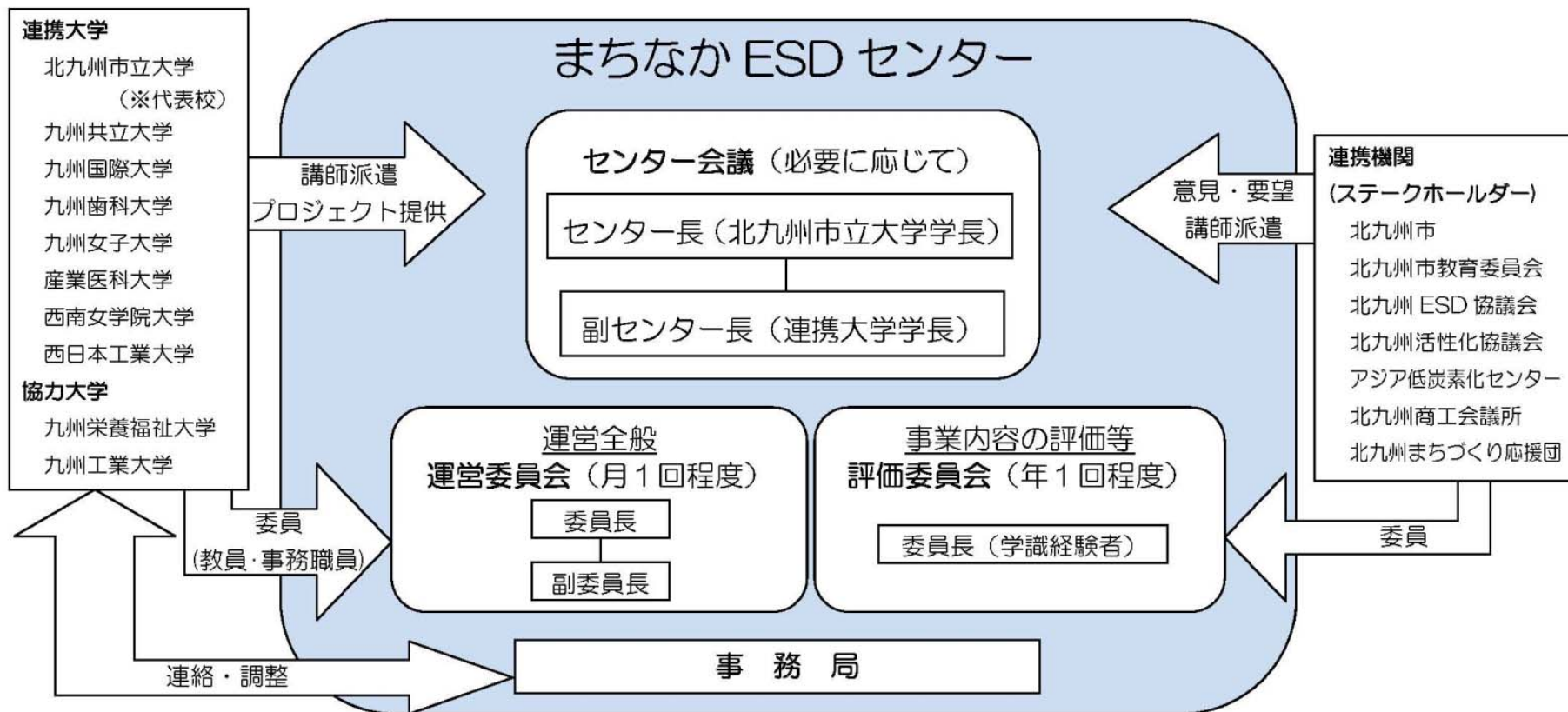
2 持続可能な社会づくりへの挑戦

- シビックプライドの醸成
- 世代継承

3 にぎわいづくりへの挑戦

- 多世代、異文化間交流
- 中心市街地活性化

組織体制



【常駐スタッフ】

特任教員3名(民間2、教育社会学)
 業務委託コーディネーター1名(NPO)
 事務2名+(本部統括事務3名)



成果

- H25年度は13,000名以上が来所
- 学生500名、市民400名が登録
- 34講座、660名がESDについて学んだ
- 学生、市民のシビックプライドと行動化
- 地域における大学生の「発見」

成果 学生ひとりひとりの想い

九州女子大

教員になりたいです。
そのために社会のこと
を知っておきたい

北九州市立大

外国人と北九
州の大学生が
つながる場を
創りたい

北九州市立大

学生主催のまちあるき
ツアーを成功させたい

西日本工業大

プロジェクトで
自分の成長を
感じたい



ご清聴ありがとうございます。

manabe@kitakyu-u.ac.jp